

12 月 24 日：トレードシステムへの不安からベトナム株は急落

ベトナム株は木曜日に下落した。トレードシステムへの不安がきっかけとなり幅広い銘柄に売りが入りベトナム株を押し下げた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 1.05% 安の 1,067.52 ポイントで取引を終えた。水曜日にも 0.42% 下落していた。

VN 指数は 10 月 28 日に 2.97% 下落して以来の大幅な下げとなった。

取引開始直後に VN 指数が 1,085 ポイント付近まで上昇した後に下落を始めた。

出来高の増加でシステムが再び停止するのではないかという懸念から投資家は利益の確定に急いだ。

12 月 17 日、22 日、23 日のホーチミン取引所の売買代金は 13-14 兆ドンを超えていた。

売買代金が 14 兆ドンを超えたときにシステムエラーという過去と同様のことが起こった。

投資家は売りも買いも出来なかった。

投資コミュニティでのアドバイスは“キャッシュイズキング”であった。

水曜日の午後の会見でホーチミン取引所のチャー会長はこれは取引所のミスでは無く、専門家が本当の原因を究明中だと述べた。

証券各社はコメントを控えた。

ホーチミン取引所の VN30 指数は最大 3.04% 安となり、そこから反発をして最終的には 1.12% 安の 1,033.95 ポイントで取引を終えた。

30 銘柄の内の 26 銘柄が下落し 2 銘柄のみが上昇した。

HD バンク (HDB)、エクシムバンク (EIB)、テクコムバンク (TCB)。BIDV 銀行 (BID)、ビナミルク (VNM)、ビンホームズ (VHM) といった大型株が下落した。

それらの銘柄が木曜日の相場を大きく押し下げた。

中小型指数もそれぞれ 1.03%、1.83% 安となった。

上昇銘柄が 88 に対して下落銘柄は 367 であった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 1.38% 安の 187.63 ポイントで取引を終えた。

12 月 1 日から 17 営業日連続で合計 28.8% の上昇を記録していた。

南北両取引所合計で出来高が 9 億株、売買代金にして 15.95 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。